



嵐山東だより

学校評価特別号

京都市立嵐山東小学校
令和8年10月

秋冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、児童・保護者・教職員を対象に学校評価アンケートを実施しました。今年度の保護者アンケートの回答率は63%でした。ご多用の中、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。いただいたご意見をもとに本校の教育活動を振り返ったところ、成果とともに今後の課題も見えてきましたので、その概要をお知らせします。

<アンケートの見方>

ご協力いただいたアンケートは、ニーズ度調査型アンケートで、保護者、児童、教職員の三者それぞれに、表現の仕方に違いはありますが、ほぼ同じ内容の質問をしています。同じ項目で重要度・実現度を聞き、二つの結果をもとにニーズ度を出すものです。

- ・重要度と実現度の最高値は7
- ・ニーズ度の最高値は49
- ・重要度が高く、実現度が低いものほどニーズ度が高い。

数値の見方

5.7 0.1

前期より0.1pt上がって5.7

ニーズ度が高いほど早期に改善が望まれる項目ということになります。ニーズ度によって、学校の魅力や優先的課題、長期的課題を見出していきます。

◎アンケート集計結果

【保護者】

	質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		ニーズ度
確かな学力	1 教職員が、熱意をもって教育活動に意欲的に取り組むこと。	6.2	0.1	5.6	-0.3	15.2
	2 学校が、学習環境を整えること。	6.2	0.0	5.4	0.0	16.1
	3 子ども達が、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解すること。	6.3	0.0	5.1	0.0	18.1
	4 子ども達が、話を聞く姿勢を身につけること。	6.4	0.0	5.0	0.0	19.0
	5 保護者が、家庭学習の習慣が定着するよう働きかけること。	6.0	-	4.8	-	18.9
健やかな心体・	6 子ども達が、きまりを守って生活するよう働きかけること。	6.1	-	5.2	-	17.3
	7 子ども達が、よい友だち関係を築いて楽しく過ごすこと。	6.4	0.2	5.4	0.2	16.6
	8 子ども達が、基本的な生活習慣を身につけるよう働きかけること。	6.2	-	5.1	-	17.7
	9 教職員が、児童と信頼関係を結ぶこと。	6.3	0.1	5.4	0.0	16.7
	10 保護者が、子どもと会話する時間を大切にすること。	6.6	0.1	5.2	0.0	18.8
地学校と・家庭連携・	11 保護者が、教職員に気軽に相談できること。	5.8	0.0	5.0	-0.3	17.3
	12 学校が、教育方針や教育活動を学校・学年だより、HPなどを通して伝えること。	5.5	0.0	5.4	-0.1	14.1
	13 保護者が、教育活動(参観・懇談会など)に積極的に参加すること。	5.3	-0.2	5.3	0.1	14.5
	14 保護者が、学校から配られるお知らせのプリントなど確認すること。	5.7	-0.2	5.2	0.1	15.6



学校教育目標

自ら進んで学び 人やもの・地域と豊かにかかわる子どもの育成
～なりたい自分に向かって、やってみよう やりきろう～

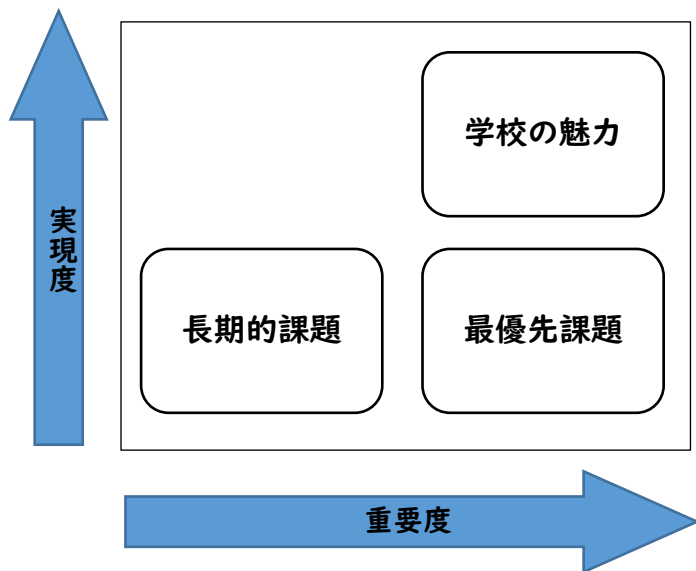
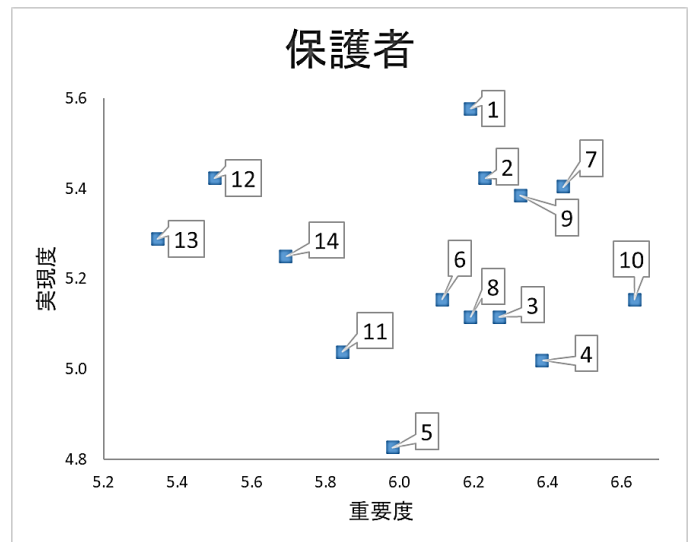
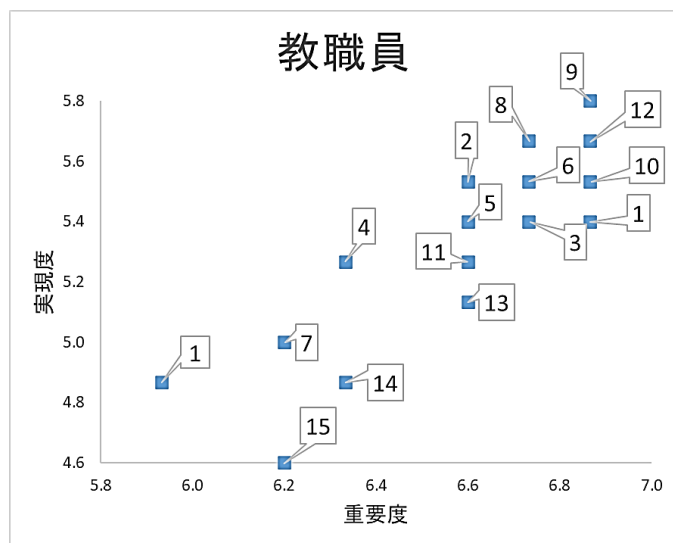
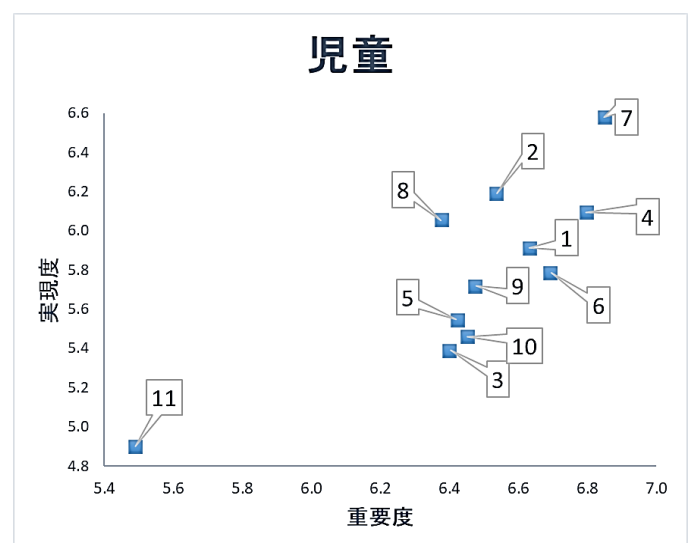


【児童】

		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		二一ズ度
確 かな 学 力	1	勉強(べんきょう)がわかること。	6.6	0.1	5.9	0.3	13.8
	2	しゅくだいをすること。	6.5	0.4	6.2	0.2	11.8
	3	じゅぎょう中(ちゅう)に自分(じぶん)の考(かんが)えを話(はな)すこと。	6.4	-	5.4	-	16.7
	4	先生(せんせい)や友(とも)だちの話(はなし)をしっかりと聞(き)くこと。	6.8	0.2	6.1	0.2	13.0
	5	目標(もくひょう)をきめて、勉強(べんきょう)のやりかたを工夫(くふう)すること。	6.4	-	5.5	-	15.8
健 豊 や か な 心 体・	6	学校(がっこう)のきまりややくそくをまもること。	6.7	0.3	5.8	0.2	14.8
	7	友(とも)だちを大切(たいせつ)にすること。	6.9	0.0	6.6	0.1	9.7
	8	学校(がっこう)が楽(たの)しいこと。	6.4	-	6.1	-	12.4
	9	こまったときに相談(そうだん)できる人(ひと)がいること。	6.5	0.0	5.7	-0.9	14.8
	10	自分(じぶん)からあいさつをすること。	6.5	0.1	5.5	0.0	16.4
地 学 域 校 と の 家 庭 携 ・	11	家(いえ)の人(ひと)に学校(がっこう)であったことを話(はな)すこと。	5.5	0.1	4.9	0.0	17.0

【教職員】

		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		二一ズ度
確 かな 学 力	1	子どもに学力が身につくように、教材研究・準備をすること。	6.9	0.2	5.4	0.1	17.9
	2	子どもに学習した内容が定着するように、学習課題(めあて)の提示とまとめ・振り返りをするこ	6.6	-0.1	5.5	-0.1	16.3
	3	子どもの実態や課題に応じて、一人一人を大切にした指導を行うこと。	6.7	-0.1	5.4	-0.1	17.5
	4	子どもに家庭学習の習慣が定着するよう働きかけること。	6.3	0.2	5.3	0.5	17.3
	5	子どもが自分の考えをもち発信できるように働きかけること。	6.60	0.5	5.4	-0.1	17.2
	6	子どもが授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけること。	6.7	-	5.5	-	16.6
	7	授業中、子どもが書く機会を意識して作ること。	6.2	-0.2	5.0	-0.4	18.6
健 豊 や か な 心 体・	8	子どもが学校の決まりや約束を守って生活するように指導するとともに、教職員も自ら守ること	6.7	-0.2	5.7	0.0	15.7
	9	子どもが他人を思いやり親切にできるように働きかけるとともに、教職員も行動すること。	6.9	0.0	5.8	-0.3	15.1
	10	子どもが友だちを大切に、仲よくできる学級づくりに取り組むこと。	6.9	0.0	5.5	-0.1	16.9
	11	子どもが自分から進んで挨拶ができるように働きかけるとともに、教職員自らが挨拶すること	6.6	-0.1	5.3	-0.4	18.0
	12	子どものよさを積極的に見つけ、認め、ほめること。	6.9	0.0	5.7	-0.4	16.0
地 学 域 校 と の 家 庭 携 ・	13	保護者が気軽に質問したり相談したりできるように働きかけること。	6.6	0.1	5.1	-0.2	18.9
	14	学校の教育方針について理解し、伝えること。	6.3	-0.1	4.9	-0.2	19.8
	15	学校・学級だより・学校HPなどで、学校や子どもの様子を発信すること。	6.2	0.1	4.6	-0.3	21.1
	16	学校行事(授業参観・懇談会など)に参加するように働きかけること。	5.9	0.0	4.9	-0.1	18.6



◎アンケート分析

【保護者】アンケート

保護者アンケートでは、「子どもたちが話を聞く姿勢を身に付けること」のニーズ度が最も高くなりました。また、「家庭学習の習慣が定着すること」「子どもと会話する時間を大切にすること」「学習したことを理解すること」についても高い関心が示されました。

これらの結果から、保護者の皆様は学力向上だけでなく、その基盤となる学習習慣や生活習慣を大切に考えておられることが分かります。特に、「話を聞く力」は学習活動だけでなく、友達との関わりや集団生活にもつながる重要な力であり、本校としても大切にしていきたい課題です。

また、「子どもと会話する時間を大切にすること」は全項目の中でも重要度が高く、家庭での対話や見守りが子どもたちの成長を支える大切な基盤となっていることがうかがえる結果となりました。

【児童】アンケート

児童アンケートでは、「友だちを大切にすること」「宿題をすること」「先生や友だちの話をしっかり聞くこと」「学校が楽しいこと」の実現度が高く、多くの子どもたちが前向きに学校生活を送っていることが分かりました。

一方で、「授業中に自分の考えを話すこと」「目標を決めて勉強のやり方を工夫すること」「家の人に学校であったことを話すこと」は、重要だと感じながらも十分にできていないと考える児童が比較的多く見られました。

また、「困ったときに相談できる人がいること」の実現度が昨年度より低下しており、子どもたちが安心して相談できる環境づくりの大切さが改めて確認されました。

児童の回答からは、自分の考えを伝える力や主体的に学ぶ力を伸ばしたいという思いとともに、安心して学校生活を送るための人とのつながりを大切にしている様子がうかがえました。

【教職員】アンケート

教職員アンケートでは、「学校・学級だよりやホームページなどで学校や子どもたちの様子を発信すること」のニーズ度が最も高くなりました。また、「学校の教育方針について理解し、伝えること」「保護者が気軽に相談できるように働きかけること」についても高いニーズが見られました。

これらの結果から、教職員は学校と家庭・地域が連携しながら子どもたちの成長を支えていくことを大切に考えていることが分かります。特に情報発信については、その重要性を感じる一方で実現度が低く、改善の必要性を認識していることがうかがえます。

学習面では、「教材研究や授業準備」「家庭学習の習慣化への働きかけ」「自分の考えを発信できる子どもの育成」を重要な課題として捉えています。また、「思いやりを育てること」「子どものよさを認めること」「友達を大切にすること」などについては実現度が比較的高く、日頃の教育活動の成果が表れていると考えています。

◎記述欄より

① 40分授業・校時運用について

最も多く寄せられたのは、40分授業や下校時刻に関するご意見でした。「午後の時間を有効に活用できる」「放課後の時間が増えた」などの肯定的な意見がある一方、「下校時刻が早い日が多い」「昼食時間が遅い」「校時の違いが分かりにくい」「予定を早く知りたい」といったご意見もいただきました。学校ではこれらのご意見を踏まえ、2学期から「水曜校時」「短縮校時」を『特別校時』に統一し、学校だより等で分かりやすく表示することとしました。また、校時運用の変更についても、より丁寧な周知に努めています。

② 情報発信・連絡体制について

時間割や下校時刻の案内、通知表や評価の説明などについて、より分かりやすい情報提供を求めるご意見がありました。また、学校での取組や放課後時間の活用状況について知りたいという声も寄せられました。学校評価アンケートでも、教職員が「学校の様子の発信」を課題として捉えており、今後も学校だよりやホームページ等を通して、教育活動や学校の様子を分かりやすくお伝えしていきます。

③ 学習・授業について

探究学習については、「家庭での負担が減った」「学校で主体的に取り組めてよい」といった肯定的なご意見をいただきました。また、学習評価の在り方や学習環境に関するご意見も寄せられました。学校としては、子どもたちが主体的に学び、自分の考えを表現できる授業づくりを進めるとともに、評価についても丁寧な説明に努めてまいります。

④ チーム担任制について

「複数の先生と関われることを子どもが楽しんでいる」「様々な視点で見てもらえる安心感がある」といった肯定的なご意見を多くいただきました。一方で、「継続的な見取りができていないか心配」という声もありました。学校では、複数の教職員による情報共有をより丁寧に行い、一人一人の児童をチームで見守る体制を大切にしていきます。

⑤ 生徒指導・安全安心について

児童間のトラブルへの対応や授業中の学習規律、安全管理に関するご意見をいただきました。また、学校行事や校外学習における安全確保への要望も寄せられました。学校では、安全・安心な学校づくりを最優先に考え、子どもたちが落ち着いて学べる環境づくりや丁寧な児童理解に努めてまいります。

お忙しい中たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。以上アンケート結果について、学校運営協議会理事会で内容を共有し、学校教育目標の実現に向けて取り組みをさらに進めていきます。今期の学校評価を受けて、よりよい嵐山東小学校となるように、さらに力を尽くしてまいります。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。